

茨城県国際理解教育推進協議会

会長 川俣 勝慶 殿

ワールドキャラバン国際理解教育実施報告書

学校名 県立下妻養護学校

担当教諭名 本橋史代

「ワールドキャラバン」国際理解教育については、下記のとおり実施しましたので報告します。

記

実施日時	平成23年12月14日(水) 9:30～13:30
対象学年と人数	中学部1年～3年 40名
派遣講師名と出身国	ライター カトリン ユミコ さん(オーストリア) 邵 鴻飛 さん(中国)
活動の内容	・国際理解の話 それぞれの国について、気候やあいさつ、行事、学校の様子などを、パワーポイントの写真や実物を見せてもらって話を聞く。 ・異文化体験 民族衣装を見たり、試着したり、太極拳の実演や、国の歌の実演を見た。 生徒達の様々な質問に答えていただく。
今回実施されたワールドキャラバンについて評価	生徒・職員とも有意義な時間を過ごすことができた。学校側がもう少し綿密に計画を立てていたら、一人一人とじっくりと交流できる時間が取れた。ぜひ、またこのような機会を計画したい。
生徒・保護者等参加者の感想	・ 中国やオーストリアのことが良く分かった。 ・ 中国やオーストリアに行って見たいと思った。 ・ やさしくて、たくさん話しをしてくれて楽しかった。 ・ いろいろな質問に答えてくれてうれしかった。
先生の感想	・ 集中して話しを聞くのが難しい生徒が、静かに話を聞いていた。 ・ 生徒の思いがけない質問に、今まで気づかなかった一面を見せてもらった。 ・ 生徒たちがとても喜んでいたり、盛り上がっていたので、ぜひまたやって欲しい。 ・ パワーポイントを使って、わかりやすく説明してくれたので、知的に障害のある生徒も熱心に聞いていた。 ・ 事前に生徒の障害について詳しく説明しなかったため、握手ができなかったり、衣装の試着が難しかったり、話の途中で大声を出してしまったりと迷惑をかけてしまった。

